ムシャクシャするんじゃ。

火まつり

北大路欣也　太地喜和子

|監督：柳町光男|脚本：中上健次|音楽：武満　徹|

●製作：清水一夫 ●撮影：田村正毅●美術：木村威夫 ●照明：高屋 斉 ●録音：久保田幸雄●編集：山地早智子●西武セゾングループ・(株)シネセゾン・(株)プロダクション群狼・提携作品 ●配給：株式会社シネセゾン ●出演：中本良太・安岡リキヤ・宮下順子・菅井きん・川上麻衣子・伊武雅刀・柳家小三治・蟹江敬三・森下愛子・三木のり平●西武セゾングループ・第1回製作作品●優秀映画鑑賞会推薦●日本映画ペンクラブ推薦

1985年度カンヌ国際映画祭正式出品

火まつり

数々の映画賞に輝いた「さらば愛しき大地」から3年、待望の柳町光男監督の最新作である。劇場を作り、配給会社を設立してきた西武セゾングループが製作に乗り出した第一回作品であり、芥川賞作家・中上健次が初めて映画のために書き下ろしたオリジナル脚本作品である。かつての日本映画では描かれることのなかったそのテーマといい、物語のショッキング性といい、作品は極めて刺激的である。

映画の舞台は、山と川と海とに囲まれて、伝説と物語の宝庫、神秘的世界を広げる紀州・熊野、二木島。木こりの達男は、すでに人生のカーブを切った40才になっていたが、斧をふるう若々しい表情と、ひきしまった肉体には、ある「たぎり」のようなものを感じさせる。達男は歳相応の分別や世間体を考えて生きる男ではない――むしろ生きられない男である。女房子供がいながら、ふらりと帰って来た幼なじみの基視子と夜更けに情事の舟を出す。猟犬を飼い、猪を囲む。狩りに出かけ、猿を撃つ、若衆達のリーダー格で悪戯を楽しむ――その行動は奔放で、昔かたぎの木こり達さえ、傍若無人に思うほどである。特に達男にとって自然との関係は特別であった。「山の神さん俺の彼女じゃ、俺しか神さんを女にできるもんか。」二木島の住民には、その姿は異常にだけしか映らない。住民にとって達男は異邦人であった。

二木島に海中公園建設の話が持ち上がる。達男は建設に反対であった。そんな折り、何者かによってハマチの養殖場に重油がまかれ、二木島の漁民達に大きな損害を与える。やがて、その犯人が達男ではないかとの噂が広まるが、達男に全く動ずるところはなかった――。幼なじみの基視子が、色仕掛けで男達から金を巻き上げて、達男に別れを告げることもなく二木島を去る。基視子はその金で潰れそうになっていた自分のスナックを再開した――したたかな女である。スナックのパーティーに招待され、基視子のそのしたたかさな嬌態を目のあたりにする達男。

神秘の森と海が続き、謎めいた土着信仰が伝承されてきた自然と、その中で自由奔放に生きてきた男、その自然に押し寄せる否応ない時代の波と、男に押し寄せるさまざまな柳（しがらみ）――。達男の中に得体の知れぬ苛立ちが生れてくる。ある日、達男は激しい雨と嵐の中で自然そのものと会話を交す。それは官能的でエロティックでさえある。生の過剰を負った男ゆえの体験である。「火まつり」の夜、達男はその荒ぶりたぎる魂を何かに憑かれたように思いの限り高揚させた――。

穏かな二木島の春。その静寂の中に鋭い銃声が響きわたり、戦慄と衝撃のラストが……。

完成直後の試写室から出てきたある映画評論家は「この作品は近来の日本映画において、もっとも刺激的な存在だ。まちがいなくベスト・ワンの映画！」と絶賛した。この作品のもつ刺激性といい、衝撃度といい、85年度日本映画の最大の問題作である。

主演に北大路欣也。達男のもつイメージと肉体を具現する俳優として「他にやれる人はいない」と監督が断言し、その言葉にみごとに応えている。達男の幼なじみ、基視子役で太地喜和子が久々にその魅力を体当りで見せつけている。又、達男を兄のように慕う青年役に新人・中本良太が抜擢され、彼の出現は創作上、監督に多くの影響を与えたという。

音楽を現代音楽の国際的な第一人者、武満徹が担当しているのも話題である。

5月25日(土)よりロードショウ。

日比谷映画 03-591-5353	浦和シネマ1 0488-24-2844	新潟カミーノ古町シネマ2 0252-25-1230	四日市宝塚劇場 0593-52-6353
新宿オデヲン 03-202-5657	静岡カブキ 0542-53-8758	郡山スカラ座 0249-22-0826	金沢グランドスカラ座 0762-21-3011
渋谷ジョイシネマ 03-462-2539	浜松ミラノ座 0534-55-1080	仙台日之出会館 0222-23-2964	札幌ニコー劇場 011-251-1650
シネ・ヴィヴァン・六本木 03-403-6061	沼津名画座 0559-63-2122	盛岡松竹映画劇場 0196-22-4703	函館TOMホール 0138-23-2382
キネカ大森 03-762-6000	宇都宮アーバンシアター 0286-37-1711	名古屋名宝シネマ 052-231-7156	旭川シネマアポロン 0166-23-2185
千葉東映パラス 0472-22-8040	水戸コートワンシネマ 0292-26-5232	豊橋東映シネマ2 0532-53-0515	
新所沢パルコレッツシネパーク 0429-98-8000	キネカ筑波 0298-52-2145	岡崎シネマ 0564-23-8866	

★上映時間は、各劇場にお問い合わせ下さい。

特別鑑賞券¥1,200（当日一般¥1,500、学生¥1,300の処）劇場窓口、各プレイガイド他にて発売中！